

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぼんはうすさくらヴィスト富山二口教室		
○保護者評価実施期間	R7年 11月 28日		～ R7年 12月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25 (回答者数)	18
○従業者評価実施期間	R7年 12月 1日		～ R7年 12月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 1月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	チーム全体で活動共有を行い、利用者が安心安全に過ごすことが出来るよう日頃より話し合いの場を設けている。	その日行う活動の共有を行い、その日の利用者の注意点などを話し合っている。 集団活動への参加が難しいことが想定される利用者に関して、対応するスタッフを確認し、活動中はそのスタッフが責任を持って支援している。	安心安全な活動を常に意識し、教室内全体を見渡せる人員配置や利用者対応を行っている。
2	個人情報保護のため、書類等に気を配り、記載する際は伏せ字を使用している。 個人情報の記載されている書類は、カモフラージュホルダーを使用し、閲覧する際も速やかに行い各担当者が責任を持って収納している。	回収BOXを設け、常に所在を確認し書類の整理を行っている。 閲覧が滞っている場合は、スタッフに閲覧の声掛けを行い、迅速な対応をしている。	早急に閲覧が必要なものや個人情報に関する書類は、回収BOXを使用しないで個別に声掛け、速やかな回収を行い、書類紛失等のリスク回避を図る。
3	支援室内は常に清潔を保ち、不必要なものが無い状態、整理整頓された状態で支援に取り組んでいる。	利用者が活動しやすい環境（視覚的にやるべきことが分かる自分のやりたい活動を自身で用意出来る 使いたい道具を自分からスタッフに伝えることが出来る）を整え、自身から発信しやすい環境調整を行っている。	変動する支援具に対し、利用者が自身で要望を伝えられるよう準備をととのえてから支援具として提示する。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団で過ごす場のため、個別支援と集団支援の双方を一度に行う対応が難しい。	個別に支援の要望や課題がある際、スタッフが1人に付きっきりになってしまう事がある。	同じ課題感のある他児を巻き込み、一緒に活動を行い1人のスタッフが複数人の利用者に対応する。
2	短時間パートスタッフの、研修時間確保。	支援時間に勤務となるパートスタッフに、常日頃から支援に入ってもらっている。	研修等の進捗状況を日頃より共有してもらい、こちらから受けてほしい研修を抜粋、具体的に伝え、研修時間の確保をしていく。 余裕を持って研修に参加してもらうことで、支援力の向上を図る。
3	ケア記録作成に時間がかかる。	その日の支援時間終了後に、複数人のケア記録を作成しているため、定時までには終わることが難しい。	ケア記録公開日を数日伸ばし、公開日までの作成を促す。 定時退社を意識し、必要な際は支援時間内にも事務作業の時間を確保する。